

◆千葉県の30年後を見据えたロードマップ(主要項目)

		単位	約5年以内			約15年以内		約30年以内		
			現状	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	
主要統計	人口 ^{注1}	千葉県合計	千人	6,216 (2010年)	6,238	6,227	6,149	6,015	5,836	5,627
		① 東京湾岸地域	千人	2,672 (〃)	2,704	2,738	2,741	2,720	2,678	2,624
		②A アクアライン・圏央道沿線地域	千人	829 (〃)	826	812	790	760	725	686
		②B 成田空港周辺・印旛地域	千人	816 (〃)	822	817	803	780	750	715
		③ 常磐・つくばエクスプレス沿線地域	千人	1,342 (〃)	1,357	1,363	1,353	1,328	1,292	1,249
		④ 銚子・九十九里・南房総地域	千人	558 (〃)	529	497	462	426	390	353
	高齢化率 ^{注1}	65歳以上	%	21.5 (〃)	26.4	29.3	30.8	32.3	34.5	37.7
		75歳以上	%	9.0 (〃)	11.6	14.8	18.5	20.2	20.5	21.1
	医療	病床過不足数	千床	12.7 (2010年)	7.3	1.7	▲ 3.5	▲ 5.7	▲ 5.5	▲ 5.3
	観光	訪日外国人数の目標 ^{注2}	万人	837 (2012年)	1,800 (2016年)	2,500 (2020年)	3,000 (将来目標)	-	-	-
日本人海外旅行者数の目標 ^{注2}		万人	1,849 (2012年)	2,000 (2016年)	-	-	-	-	-	
ロードマップ (主要項目)	公共交通	道路	・アクアライン800円恒久化の実現			・圏央道の県内区間の早期全線開通 ・館山道4車線化の実現		・国道16号バイパスの整備 ・第2東京湾岸道路の整備		
		成田空港	・官民一体となった成田空港の活用 ・成田空港の機能充実 (2014年度航空機年間発着容量30万回の達成 運用時間の緩和／検問体制の見直し 空港内設備のグランドデザインの見直し)			・成田空港の機能充実 (3本目の滑走路の整備)		・成田空港と羽田空港間のリニアモーター カーの敷設によるアクセス利便性の向上		
	高齢者人口 急増対応	医療・介護	・医療・福祉・健康産業の集積促進(東京湾岸地域) ・在宅医療の推進とそのためのIT化の推進、医療・介護ロボットの実用化 ・医科大学・看護師養成機関の誘致(成田空港周辺・印旛地域)					・広域での医療ネットワークの構築		
		まちづくり	・コンパクトシティの推進(常磐・つくばエクスプレス沿線地域他) ・南房総地域におけるシルバータウンの推進					・広域でのまちづくり推進(各地域が不足 する都市機能を相互補完など)		
	観光・交流		・放射能汚染と液状化対策、津波対策の早期完了 ^{注3} ・情報発信 (その他の地域とも共通) ・IR統合型リゾートの誘致			・スポーツツーリズムの推進(県内全域) ・ウォーターフロントの魅力向上(東京湾 岸地域)		・千葉県のブランド力の一層の向上		
	製造業		・産官学連携によるイノベーションの創出、ベンチャー企業の育 成・強化(常磐・つくばエクスプレス沿線地域) ・京葉臨海コンビナートのマザー工場化、研究施設の誘致促進			・環境・エネルギー産業の支援・育成(京 葉臨海工業地帯の利活用)		・時代の変化に対応した新たな産業の創 出		
	企業誘致		・圏央道の利便性向上を活かした沿線への企業誘致の推進/ 2つの新工業団地(袖ヶ浦椎の森・茂原にいはる)の完売			・新たな工業団地の整備による圏央道沿 線への企業誘致の推進 ・誘致した企業の育成・支援		・環境変化に適応した企業のさらなる誘致		
	農業・漁業		・農業・漁業の活性化(6次産業化の推進、海外への販路拡大、 新規事業への参入など)			・農業・漁業の活性化(植物工場などのノ ウハウ・プラントの輸出など)		・過去の成果を踏まえた農業・漁業の 一層の活性化		

(注)1. ちばぎん総合研究所の中位推計(2012年10月推計)

2. 観光庁「観光立国推進基本計画(2012年6月12日)」における目標値(2012年は推計値)。

3. 県内自治体の復旧・復興計画期間は浦安市(2020年)を除いて2017年度以前となっている。